

1 題材名 漢字をよく見てみよう

2 題材について

本学級に通級している3年生児童Aは、褒められるとやる気を出し、意欲的に活動に取り組むという長所がある。個別の指導においては、「面倒くさい」と言いながらも課題に取り組むが、在籍学級においては、集中する時間が短く、手いたずらをしてしまうため、学習が理解できず、自信をもつことができない。文字のバランスがとれなかったり、書くことへの抵抗が大きい。また、板書を途中で諦めてしまうことも多い。また、キャッチボールや縄跳びなど眼と体が上手に協応できず、運動など自信のないことには取り組まない傾向にある。

そこで、自立活動の内容「2 心理的な安定」や「5 身体の動き」に関する指導を取り上げることとした。見る力を高めることにより、文字を書いたり、板書したりすることへの抵抗が少なくなるのではないかと考えた。また、部首に興味をもっているため、文字を「彳」と「主」というようにパーツで捉えさせることにより、漢字を大まかな形として捉えるのではなく、細部にわたり注意を注ぐことができるのではないかと考えた。さらに、現在、ごほうびの時間には縄跳びに取り組むことが多く、この機会を利用して縄跳びの技が一つできるようになると自信が付き、運動に気持ちが向くのではないかと考え設定した。

指導にあたっては、集中して学習に取り組むことができるよう活動をモジュール化し、1つ目は見る力を高める活動、2つ目は形をよく見て書く活動、3つ目は縄跳び運動とした。見る力を高めたり、形をよく見て書いたりする活動では、在籍学級でこれから学習する漢字を用いることで先取りの学習としたい。初めに、見る力を高める活動（漢字さがし）では、クイズ形式に出題し、正解したらシールを貼って次の問題へ取り組ませる。シールを貼ることで課題の進み具合や自分の頑張りを視覚化したい。次に、よく見て書く活動（ピタリ漢字）では、「どのマス、どこから、どちら向き？どこまで進む？」をキーワードで示し、視点を意識させたい。また、文字を「彳」と「主」とパーツで色分けしたプリントを使うことで、同時に漢字の見方も取り入れていく。手本の上に自分の書いた漢字を重ねることで、出来栄を自分で感じ取り、修正点に気付けるようにする。最後に、縄跳びの交差跳びの練習では、段階を経て練習に取り組ませることで、少しずつできるようになっている自分に気付かせ、やる気を維持したい。練習の様子を動画で撮ることで、自分の動きを客観的に捉えて修正できるようにしたい。

3 児童の実態と個別目標

	題材における実態	題材における目標
A (3年)	<ul style="list-style-type: none"> 集中する時間が短かく、手いたずらが多い。 文字のバランスが取りにくく、文字が乱れがちである。 画が一本足りなかったり、突き出てしまったりなど書き違いがある。 漢字が習得しにくい。 見て、書くという視覚と運動の協応する力がやや弱いため、板書を写したり、運動したりすることが苦手である。 初めてのことや苦手なことには取り組めないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 眼だけを動かすことを意識して物を見ることができる。【5-(5)】 ○ 漢字を細かいところまで見ることができる。【2-(3)】 ○ 漢字の画の長さや方向を見て、手本のような字を書くことができる。【2-(3)】 ○ 縄跳びで前交差跳びが1回跳べる。【5-(5)】

4 指導計画と評価（3時間扱い）

時	学習活動・内容	評 価
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 眼の運動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の指の動きに合わせて眼を動かすことができる。 ・ 多くの漢字の中から指定された漢字を見付けることができる。 ・ 漢字の間違えている部分を話すことができる。 ・ 罫線の入った2 cm のマスの中に漢字を書くことができる。（始筆を入れる） ・ 縄を回転させて腕を交差し、回ってきた縄を両足で踏むことができる。
2 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字を詳しく見る。 ・ 形をよく見て漢字を書く。 ・ 前交差跳びの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の支援のもと、自分の指の動きに合わせて眼を動かすことができる。 ・ 多くの漢字の中から指定された漢字を見付けることができる。 ・ 漢字の間違えている部分を話すことができる。 ・ 罫線の入った2 cm のマスの中に漢字を書くことができる。（始点を入れる） ・ 腕を交差した状態から手首を回して縄を回すことができる。
3		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の指の動きに合わせて眼を動かすことができる。 ・ 多くの漢字の中から指定された漢字を見付けることができる。 ・ 漢字の間違えている部分を話すことができる。 ・ 罫線の入った2 cm のマスの中に漢字を書くことができる。 ・ 前交差跳びが1回跳べる。

5 本時の指導

(1) 個別目標

- 指の動きや、指示通りに眼を動かすことができる。 【5－(5)】
- 多くの漢字の中から指定された漢字を見つけ、話すことができる。 【2－(3)】
- 罫線の入った2 cm のマスの中に漢字を書くことができる。(始点を入れる) 【2－(3)】
- 短縄跳びで、腕を交差した状態から手首を回して縄を前に回すことができる。 【5－(5)】

(2) 準備・資料

1 から 10 まで書いたプリント、線が書いてあるプリント、漢字クイズの用紙(5文字×2種類)、漢字練習プリント、自作の投影機、頑張りカード、シール、縄跳び、掲示用キーワード、へその前で腕を交差させた写真、タブレット PC

(3) 展開

学習活動・内容	教師の指導・支援と評価(◎)・(評価方法)
<p>1 学習の始まりのあいさつをし、本時の学習を知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・目の体そう ・漢字さがし ・ピッタリ漢字 ・交さとびの回す練習 </div> <p>2 学習計画に沿って学習を進める。</p> <p>(1) 眼の体操をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かたつむり」の音楽に合わせて眼を動かす。 ・数字を順に眼で追う。 ・線をなぞる。 <p>(2) よく見て漢字を探す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの漢字の中から指定された漢字を見つける。 ・漢字の間違えている部分を指摘することができる。(追う、暑い、軽い、第一、血) <p>(3) よく見て漢字を書く。(追う、暑い、軽い、第一、血)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>キーワード</p> <p>どのマス、どこから、どちら向き？</p> <p>どこまで進む？</p> </div> <p>(4) 交差跳びの縄を回す練習をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>キーワード</p> <p>手は おへその 前</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・背筋・指先を伸ばし、相手を見てあいさつをすることで学習の始まりと姿勢を意識させるようにする。 ・本時の学習の流れを提示することで、見通しがもてるようにする。 ・前回の学習を想起させ、本時も前回と同じ流れで進むこと確認し、安心感をもたせるようにする。 ・学習に対する思いを話させる。自信がないようであれば、前回のできていたことを話し、自信をもって取り組めるようにする。また、気持ちを話すことができたならシールを貼り、思いを伝えることができたことを視覚化する。 ・不安があると思われるので、初めは「かたつむり」の曲に合わせて指だけ動かす練習をさせる。その後、「かたつむり」の曲に合わせて眼のウォーミングアップをする。 ・指の動きに戸惑いがあるようならば、対面に立って指示をしたり、背面から手を取り、動かしたりして支援する。 ・1 から 10 までの数字を順に声に出しながら眼で追わせる。その後、順に指でタッチさせる。その際、数字にきちんと指が触れているか確認する。 ・線を指でなぞる際、頭を動かさないように気を付けさせるようにする。 <p>◎ 眼だけを動かすことを意識して活動することができたか。(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を話し、きちんと聞き取ることができたか復唱させてから問題に取り組ませるようにする。 ・解決したら課題の枚数分シールを貼ることで意欲を高める。 ・間違えている部分を言葉で言わせるようにし、その際、漢字の読み方を確認する。 <p>◎ 多くの漢字の中から指定された漢字を見つけることができたか。(プリント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな点に気を付けて書くといいかキーワードで確認する。 ・漢字をパーツで見ることができるようお手本の漢字は色分けする。 ・納得する漢字が書けたら、自分の書いた漢字とお手本を重ね合わせ、出来具合を見ることができるようにする。 <p>◎ 罫線の入った2 cm のマスの中に漢字を書くことができたか。(始点を入れる)(プリント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄跳びの柄の持ち方を確認する。 ・写真とキーワードを掲示して手を交差する位置を確認させるようにする。 ・縄が良く回っている動画を見せて手首を回すと良いことに気付かせる。 <p>◎ 腕を交差した状態から手首を回して縄を前に回すことができたか。(観察)</p>
<p>3 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の振り返りを言葉で言わせる。戸惑っている様子であれば文型を提示する。気持ちを話すことができたならシールを貼り、思いを伝えることができたことを視覚化する。 ・今日の頑張りポイントを計算させ、なめこカードと交換させる。頑張りを具体的な言葉で賞賛する。
<p>4 次回の学習内容を知り、終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次回のことを話すことで見通しをもたせ、意欲を高めて授業を終わりとしたい。 ・背筋・指先を伸ばし、相手を見てあいさつをすることで学習の終わりと姿勢を意識させるようにする。